

# 補習校だより

2019年2月20日発行



風はまだ冷たいですが、雪解けの季節になりました。日差しがずいぶん暖くなり、山脈の雪化粧も徐々に解けて川へと流れていきます。夜が一日ごとに短くなり、太陽が春分点を通過する春分の日には、イランの年明けになります。ノウルーズ前の授業も残すところあと3回です。イランの年末は、どのご家庭も大掃除や新年の準備などで慌ただしいでしょうが、今月の補習校もがんばりましょう。

## 今月(エスファンド月)の予定

|           | イラン暦              | 西 暦          |       |
|-----------|-------------------|--------------|-------|
| 第 20 回目授業 | 1397/12/2 パンジシャンベ | 2019/2/21(木) | 授業参観日 |
| 第 21 回目授業 | 12/9 パンジシャンベ      | 2/28(木)      | 通常授業  |
| 第 22 回目授業 | 12/16 パンジシャンベ     | 3/7(木)       | 通常授業  |
| ノウルーズ休み   | 12/23 パンジシャンベ     | 3/14(木)      | 休校    |

※1397/12/17～1398/1/21(2019/3/8～4/10)までノウルーズ休みになります。ノウルーズ明け、最初の授業は1398/1/22(2019/4/11)になります



# ☆作文紹介☆

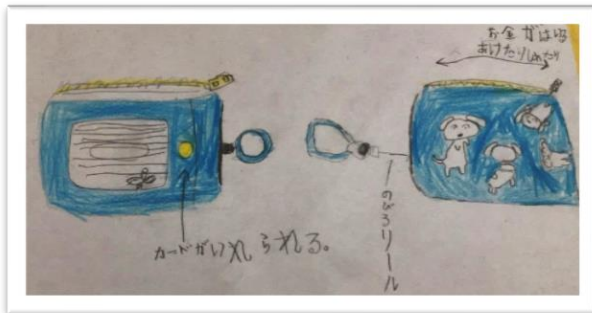
☆1・3 年生クラス

一年教科書 『しらせたいな、見せたいな』より作文を書きました。

一年 ダッギヤルさりな

わたしは、まいにちいえでスケートであそぶときにみつけたことがあります。

それは、つまさをひろげるとまえにすすみ、かかとをひろげるとうしろにすすみます。



「ぼくのおさいふ」

一年 すずきゆうと

ぼくのおさいふはとてもべんりです。

カードをいれるポケットや、お金をいれるチャックがあります。リールというひもがついているから、なくなりません。

三年教科書 『本は友だち』より、『エルマーのぼうけん』を読んで本の紹介文を書きました。

三年 青山あいさ

みなさんは、「エルマーのぼうけん」という本を知っていますか。エルマーのシリーズは、三しゅるいです。作者は、ルース・スタイルス・ガネット、絵は、ルース・クリスマン・ガネットです。

わたしは、この三しゅるいの本をととても気に入っています。なぜかという、いろいろなことがあっても、こわがわずにりゅうを助けに行くエルマーは、とてもゆうかな男の子に見えるからです。

たとえば、「かあさんが、ねこにあんまりしつれいなことをしたので、エルマーは、うちからしばらくにげたすことなんか、へっちゃらなきがしたのです。」という所です。もしわたしだったら、おかあさんがねこにしつれいなことをしても、家からにげだすことなんか、こわくてできないからです。

わたしもエルマーのように、こわいことがあってもにげずに立ち向かいたいです。



三年 小林紗也

この本は一人の少年のぼうけんのお話です。その少年はエルマーと言う名前です。

エルマーははじめにねこに会います。そしてねこの話を聞いて、つかまっているりゅうを助けに行くことにしました。

でもそれはけわしい道でした。

話ではとら、さい、ライオン、ゴリラ、さる、わにとかに会いますがエルマーは動物たちをうまくだましてにげました。

さいごはりゅうをみつけて動物島からにげました。

エルマーのぼうけんははらはらどきどきするお話ですので一回は読んでみてください。

### 三年 小林スルシュ

エルマーはある日年をとったねこに会いました。そのねこは、きもちわるそうでした。そこでエルマーはねこに聞きました。ぼくの家に来ませんか、そのことばを聞いたねこはうれしくてたまりませんでした。その後エルマーとねこは親友になりました。

ある日エルマーは、じぶんのゆめを言いました。そのゆめは、飛ぶことでした。その時ねこは言いました。動物島のりゅうに乗ればとべますよ。その話を聞いたエルマーは、その動物島へ行こうときめました。そして、リュックサックにいろんなものをつめていきました。

ふねにのって動物島につくとねこに言われたとおり夜にたんけんに行きました。いろんなところでいろんな動物に会いました。時にはころされそうにもなりました。でもさいごに川とりゅうをみつけて、その後りゅうに乗り家へ帰りました。

### ☆4・6年生クラス

四年教科書『ごんぎつね』より、ごんぎつねのその後を想像して兵十になった気持ちで書きました。



『ごんぎつねのつづき』 四年 サファリ明日漢

兵十は、

「ごん、待ってろよ。急いで医者連れてくるからな。」

ごんは、また、うなずきました。

医者がきて、ごんのきずをふさぐと、帰っていきました。

兵十は、ごんを家の中にいれ、自分もいっしょに休みました。

しばらくたつとごんは、目をさまして、自分がひろってきたくりを食べはじめました。兵十は、それを見て、とてもよろこびました。

「ごん、ほんとうによかったな。元気になって。これからはおれといっしょにくらしてくれ。」

と、言いました。

そうして、二人はいつまでもいっしょに、幸せにくらしました。

『かわいそうなごん』 四年 長谷川アナヒタ

それから兵十は泣いて泣いて、なんて悪いことをしたのだらうと気づき、ごんのこと

をずっと見ていました。

兵十は、ごんのために町に出て、おいなり・かつお・うなぎを買いました。

家に帰ってきたらごんは、たおれたまま目をつぶっていました。兵十は、三つのお皿においなり、かつおとうなぎを置き、ごんの前に並べました。そして3時間後に兵十はごんと、かつおとうなぎと、おいなりをかごに入れて白い布をかぶせました。それから家の近くの森に行き、そこにごんをうめました。

最後に兵十は・・・言いました。

「天国にごんは行けますように」と。

『「ごんぎつね」の続き』 四年 原えりか

兵十はごんの顔を見てはんせいしました。

泣きながら、

「ごん、本当に、ご、ご、ごめんよ、ぜんぶおらのせいだ。もともとおらはちゃんとおまえと話せばよかったのに。とんでもねえことをした。今もできる事は泣くことしかできねえ、おらのばかばか。」

春の晴れの日、兵十はショベルをかたにかついで山へ向かいました。野原に着きました。ショベルで花がたくさんある所にあなをほりました。ごんをあなの中にそうっと入れておはかを作りました。ごんがくれたくりを三つおいて手をあわせました。家へ帰りました。でもまだ悲しい気持ちがつついていました。

六年教科書 『この絵、わたしはこう見る』より絵についての作文を書きました。



「この絵、私はこう見る」 六年 福嶋みな

私は、この絵を見て想像した様子は雨雲の上で、風神と雷神が地上に風を吹かせたり、雷を落としたりしている所です。風神のはだ色は緑で、黒と白のズボンをはいており、大きな白い布を手を持っています。その布

が風に吹かれているように見えるので、この時向かい風が吹いていたと思います。それから、雷神の肌色は白くて、緑と黄色のズボンをはいており、周りにはでんだいこがあります。それをたたくために手にバチを持っています。風神と雷神の髪の毛が白くて、体には筋肉がついているので、二人とも力持ちの老人だと思います。この絵を描いた人は、地上の天気が変わる理由を描いたのだと思います。私は、天気のいい日が好きなので、風神と雷神はお休みしたらいいなと思います。

「ゆかいなお化けたち」 六年 奥山ティナ

私はこの絵を見て、お化けの世界で、お化けたちが楽しそうに音楽を弾いているように見えます。一人は、顔なしに似ているお化けがギターを弾いているように見えます。もう一人はふえをふいている顔がぼうしでかくれているお化けに



見えます。そのふえをふいているお化けのテーブルの下には、人かげが見えます。私は、この絵を見て、お化けたちがこわいけれど楽しい音楽を弾いているように見えます。なぜならギターを弾いているお化け、ピアノを弾いているお化けたちの口がわらっているように見えるからです。お化けたちは、みんながねたあと暗いところで集まって音楽を弾いています。色は暗いところでもめだつふくをきいているお化けもいるし、めだちたくなってテーブルの下にかくれているお化けもあります。きっとこの日はお化けたちのパーティーだったのかもしれませんが。

「この絵、私はこう見る」 六年 鈴木愛良瑠

この絵は三人の音楽隊をしめしていると思います。一番右に立っている人は、クラリネットの演奏者、まん中には、カラフルなスーツを着ているギタリスト、そして左には歌手が立っています。一番右に立っているクラリネットの演奏者は不思議な事に、一つしか腕をもっていません。それによく見るとまん中に立っているギタリストの下には、犬のしっぽが見えます。この音楽隊のペットかもしれません。

この絵の作者は、まっすぐな線や長方形を上手に利用して描いたのだと思います。

わたしがこの絵から強く受けた印象として寒くて、暗い夜に三人の演奏隊が、一生けんめいにがんばって演奏をしてお金をかせいでいる様子だと思いました。



### ☆中学部

中学部一年は「もし一度だけ、過去の自分か未来の自分に会えるなら」どちらに会いたいか、その理由を考えて作文にしました。

中学部一年 サファリ紗里奈

もし一度だけ会えるのなら、未来の自分に会いたい。なぜなら、昔の自分に会っても、もう過ぎてしまった時間はやり直せないからです。もし、未来の自分に会ってみて、よくなければ、生きる道を変えるチャンスがあります。未来の

私はきっとじゅう医です。私のなりたいじゅう医は、手術をしたりするじゅう医ではありません。目の見えない人を助けるもうどう犬、困った人を助けるかい助犬。そういった犬を育て、そんな犬たちをしん察してあげられるようなじゅう医になりたいです。そんな自分を見てみたいので、私は未来の自分にとっても会ってみたいです。そして聞きたいです。「今、楽しいですか」

中学部一年 鈴木まり

もし一度だけ会えるなら 未来の自分に会いたいです。なぜなら、未来の自分から起きた出来事やいろいろな話を聞けば、失敗したことをやり直すことができ、人生の勝者になれるからです。私が未来の自分に会ってやることは二つあります。

一つ目は未来の自分から話を聞く事です。なぜなら、前もって話を聞けば未来で起きる出来事を何事もなく楽にこなせるからです。

そして、二つ目は未来の自分と町を観光したりして過ごすことです。なぜなら、未来の

自分と過去の自分は同一人物なので気が合うと思います。その日は楽しい一日になるでしょう。

私の将来の夢は医者になることですが、未来の自分が過去の自分に助けられないように、がんばりたいと思います。



## 編集後記

私事ですがイランの年末、普段やり残してしまっていた掃除のつげが、返ってきています。あと少しで一息つけると、自分に言い聞かせて今月を過ごしているのは私だけでしょうか。さて、今年度のノウルーズ休みは例年より、少し長めです。楽しみもたくさんですが、補習校の宿題もたくさんあります。私の様にならないように、毎日少しずつこなしていって欲しいです。

そして日本の暦では年度末ですね。お別れの季節でもあります。補習校の活動を通して知り合えた皆様には、多くのことを学ばせて戴きました。皆さまとの出会いに、感謝いたします。